

## 北陸農政局農山漁村男女共同参画フォーラムの概要

### 1 開催日時

平成22年11月30日(火)

13:30~15:30

### 2 開催場所

金沢広坂合同庁舎 大会議室

(金沢市広坂2-2-60)

### 3 主催

北陸農政局



### 4 フォーラム内容

北陸地域の農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現に向け、男女が共同していきいきと活躍し、優良な取組を行っている個人及び団体に対する表彰を実施するとともに、優良な取組事例を広く紹介することにより、男女共同参画の一層の推進を図るために、フォーラムを開催し、女性農業者など60名の参加がありました。

また、表彰式後、岐阜県女性農業委員協議会会長後藤展子氏の基調講演及び意見交換会を行いました。

#### (1)北陸農政局男女共同参画優良事例表彰式(北陸農政局長賞 受賞者:6名)

部門	団体及び個人名
経営参画部門	朝日村まゆの花の会(新潟県村上市)
経営参画部門	比護 フサ子 (新潟県糸魚川市)
経営参画部門	田悟 敏子 (富山県小矢部市)
経営参画部門	高村 五月 (福井県福井市)
社会参画部門	上田 信江 (石川県輪島市)
社会参画部門	倉田 愛子 (福井県三方郡美浜町)

## (2) 基調講演

テーマ 「農業・農村における女性の参画について」

講師 岐阜県女性農業委員協議会

会長 後藤 展子 氏

後藤展子氏からは、色んな人に働ける場所を提供され、地域が元気になる良い話や農業の楽しさ、可能性、家族との絆の大切さ等について、自分の経験をもとに冗談を交えながら、楽しい講演していただきました。



【基調講演：後藤展子氏】

## (3) 意見交換会

男女共同参画優良事例表彰受賞者の皆様から日頃の活動内容を紹介していただき、その後、後藤氏を交え、意見交換会を行いました。

後藤氏及び受賞者の皆様からは、女性農業者の苦労話や女性の視点を活かした経営参画などについて、意見や提案が行われました。

また、会場からも活発な意見・質問もあり、有意義な意見交換会となりました。



平成22年度 北陸農政局男女共同参画優良事例表彰式 於 金沢広坂合同庁舎 平成22年11月30日

左から、倉田愛子氏、上田信江氏、高村五月氏、角田局長、田悟敏子氏、比護フサ子氏、朝日村まゆの花の会代表横井栄子氏

## 5 受賞者の活動事例紹介

### 経営参画部門（団体）

#### 朝日村まゆの花の会（新潟県村上市）

まゆ価格の下落等により、養蚕が衰退する中、養蚕の伝統を伝えたいという強い思いから同会を結成し、アレンジメント技術向上に取り組んだ。新潟県シルクフェアの出展や「家の光」大会で農林水産大臣賞を受賞したことから県内外に同会が認知され、女性グループ活動の趣味から経済活動に発展し、会員の所得向上に結びついている。

また、「朝日シルクフラワー製作工房」の完成に伴い、運営を委託され、まゆクラフトの販売と体験指導の拠点として活動し、中でも地域の小・中学校での教育的活動は、養蚕の継承と地域の農林業の理解促進に大きな役割を果たしている。

さらに、女性の視点を活かし、同市の地域グリーンツーリズム協議会や観光・地場産業振興審議会等に委員として参画するなど地域を巻き込みながら活動を広げ、地域の活性化に大きく貢献している。

### 経営参画部門（個人）

#### 比護 フサ子 氏（新潟県糸魚川市）

JAひすい女性部のグループ3名で「ふれあい市」を始め、漬け物など加工品の要望が増えたことから、農産加工に本格的に取り組み、自らが経営の中心を担い、同市での直売市活動、女性起業家の先駆者として地域の女性農業者に好影響を与えている。

また、加工原材料は、自家生産のほか、地域の農業者に栽培を依頼するなど、地域との繋がりを重視した活動を行い、農産物に付加価値をつけて販売する6次産業化を早くから実践するとともに、農村女性の視点から地産地消の重要性を提言し、JAひすい「食彩館」の開設に尽力した。

さらに、新潟県農村地域生活アドバイザー、農業委員、JAひすい参与等を歴任し、自家の経営発展にとどまらず、農村女性の経営参画及び社会参画を実践する地域の女性リーダーとして、女性の地位向上や地域の活性化に大きく貢献している。

#### 田悟 敏子 氏（富山県小矢部市）

田悟農産の共同経営者として、農機具を自ら操作するなど稲作経営の一翼を担う一方、自家生産の米を活かすことができる郷土食「にしんの糶漬」を製造し、経営のなかに加工部門を設け、経営の柱として確立させた。

また、県の「とやま食の匠」に認定され、郷土食の伝承に取り組むほか、農業研修生や農家体験学習生を受け入れる食育活動に積極的に取り組んでいる。

さらに、いち早く家族経営協定を締結し、認定農業者の共同認定を受けるなど、農業経営に参画する取り組みは地域の農業経営の手本となっているとともに、同市内初の女性農業委員や農業特産物推進協議会、女性農業士会の役職を務め、女性の目線で活動を提案するなど、地域農業の振興に大きく貢献している。

たかむら さつき  
高村 五月 氏（福井県福井市）

結婚を機に義父の養鶏業を手伝い始め、今より一步踏み出したことをしたいと考え、飼料に「エゴマ種子」を混和した機能性卵「えごま卵」や無農薬・無化学肥料で野菜を栽培し、トレビス、イタリアントマトなどの珍野菜を生産をするなど、消費者ニーズにあった取り組みを経営に取り入れ収益の増加に繋げている。

また、優れた農業経営を行い、社会的評価が認められ、指導農業士に認定されるとともに、「ふくいのエコ農業推進計画」に女性策定委員として参画した。

さらに、家族経営協定の締結、認定農業者、エコファーマーに認定されるなど、県内女性農業者のモデルとなる農業者であり、女性の視点を活かした経営参画を推進する農村女性の代表として、リーダーシップを発揮し地域の活性化に大きく貢献している。

## 社会参画部門（個人）

うえだ のぶ え  
上田 信江 氏（石川県輪島市）

農業振興協議会女性部理事及び全国女性農業経営者会議会員、農山漁村女性ネットワーク会員として、女性農業者間のコミュニケーション作りに積極的に取り組み、中学生の職場体験や視察研修の受け入れ、講演を通じて農業の素晴らしさを伝えている。

また、農業に情熱を持つ夫との結婚を機に農業を始め、奥能登地域の野菜生産拡大に取り組みるとともに、女性農業者の位置づけと後継者にやり甲斐のある農業経営を目指して、地域で率先して家族経営協定を締結し、他の農業者に啓発している。

さらに、これまでの熱心な農業経営や地域活動が認められ、同市初の女性農業委員となり、女性農業者としての能力を発揮する活動に地域の仲間と連携して取り組み、農業・農村における男女共同参画の推進や地域農業の活性化に大きく貢献している。

くらた あいこ  
倉田 愛子 氏（福井県三方郡美浜町）

昭和50年代から農業機械のオペレーターとして農作業に取り組み、農業経営に積極的に参画し、指導農業士、県内初の女性農業委員になるなど、経営参画だけでなく、社会参画の面からも、男女共同参画を実現し、女性農業士の育成や複数名の女性農業委員登用の流れを作った。

また、地域の女性農業者で組織する「二州あぜみちの会」の会員として、農村女性間の交流を深め、ネットワーク作りを行い、女性の活動に対して側面から支援を行っている。

さらに、現在3期目の町議会議員を務めるとともに、坂尻集落が美浜町男女共同参画推進計画の推進モデル集落として名乗りを上げると啓発活動を行う等、様々な分野で男女共同参画促進に向けた活動を行い農山漁村の活性化に大きく貢献している。